

関鉄 ^{ぽけっと} Pocket

2006
Vol.10



鉄道
活用

常総線沿線 (守谷~下館)

とっておきスポットに行く

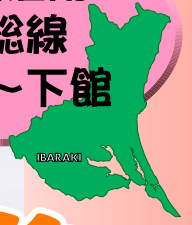
高速バス活用

鹿嶋の歴史探訪コースに行く
伝統的建造物が生きる小江戸・佐原めぐり

常総線 **もっと便利に**
TX&常総ライン
往復きっぷ
大好評



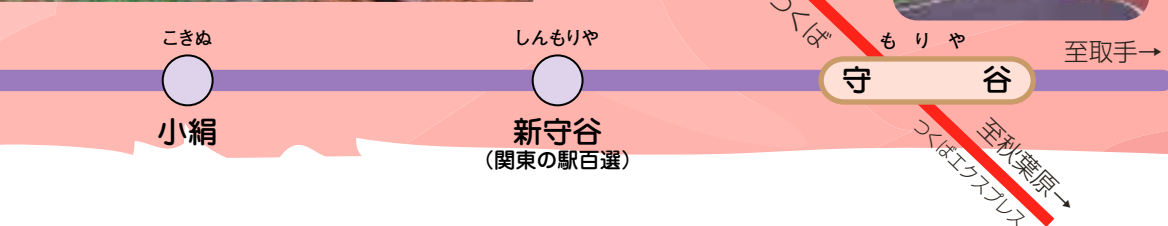
鉄道活用
常総線
守谷～下館



常総線沿線とっておきスポットに行く



関東鉄道常総線は、取手～下館を結ぶ51.1kmの路線で、途中駅の守谷はつくばエクスプレス (TX) とのジャンクション駅となっており、東京からのアクセスがますます便利になりました。秋葉原からTXの快速を利用すると32分で守谷にアクセスしますので、常総線の旅を楽しむにはお勧めルートです。今回は、守谷から水海道、石下と北上し、下妻、下館に至る沿線のとっておきスポットをご紹介します。列車は水海道を過ぎると筑波山を背景に田圃の広がる関東平野を貫きます。沿線は名物も見所も多く、駅から行けるスポットがたくさんありますよ。



**今なお残る歴史的建造物
水会館**

常総市立図書館の敷地内に佇む、この建物はかつての水海道町役場でした。常総線が開通した1913年(大正2年)と同年に建設され、町のシンボルとしてその使命を担った以後、公民館として使用され、1984年(昭和59年)に同地に移設、二水会館として今日に至っています。地元の木材商であった皆葉浦之介が施工した建物は、蛇腹板壁を配した二階建て風ですが内部は1階建てとなっており、役場時代は間仕切りをして使用していたそうです。水海道は、旧水海道小学校(県立歴史館に移設)や下妻警察署水海道分署など洋風建築が多く造られました。擬洋風建築という明治初期から日本の大工が見真似で西洋建築風の建物を造ったもので、文明開化の先取りをした気風が感じられます。(水海道駅から徒歩10分、常総市立図書館 ☎0297(23)5556)

●常総線を利用するならこのきっぷ

[1日フリーきっぷ]
土日・祝日の当日に限り、全線乗り放題のきっぷです。各駅を乗り降りしながら沿線を散策するのに最適なフリーきっぷです。有人各駅にて大人1,500円、小人750円。



[TX&常総ライン往復きっぷ]
秋葉原から石下、下妻、下館方面、または常総線から北千住、秋葉原への往復割引きっぷです。秋葉原～玉村～下妻2,780円、秋葉原～大宝～下館3,080円。TX秋葉原、北千住、常総線守谷、三妻～下館間の有人各駅で発売。



老舗製麺店が教える蕎麦打ち 土井製麺店

水海道駅前の絵画の道に1921年(大正10年)創業の製麺店があります。お店の隣が町のカルチャー教室となっていて、9種の創作講座があり、中でも製麺店のご主人がレクチャーする蕎麦打ち体験教室が人気となっています。第4日曜日に13時から行われ、10名までの事前定員制となっています。石臼で蕎麦を轆くことから麵打ちまでのプロセスを丁寧に教えてくれます。何かと温度や湿度に左右される蕎麦つくりのノウハウを知り尽くしている製麺店ならではの享受を体験してみたいかがでしょうか。参加費は一人1000円で4人前できます。(水海道駅から徒歩2分、8時~17時30分、☎0297(22)1012)



水海道の銘酒を訪ねて 竹村酒造店

京の夢、瑠璃、富士龍の銘柄で親しまれている竹村酒造店さんは、近江の国、滋賀県朝日野村出身の蔵元。近江財閥七人衆の一人で、三井、高島屋に並ぶ豪商に数えら

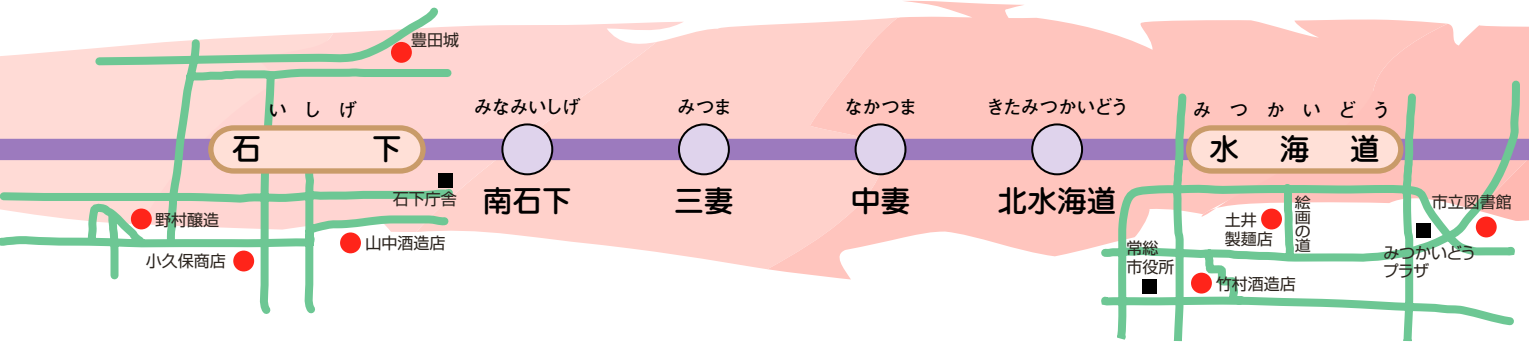
れました。1753年(宝暦3年)の創業で

石下に酒造業を始めました。水海道、岩井、藤代などに支店を置き販路を広げる一方、回船問屋や両替商を営んでいました。水海道で味噌や醤油、酒造りが多かったのは、小貝川と鬼怒川の豊富な水と上質な軟水伏流水に恵まれたことに加え、鬼怒川から江戸への水運が発達していたことからも伺えます。現在の酒蔵は1903年(明治36年)に建てられ、創業時の井戸は今なおちゃんと泉水をたたえています。(水海道駅から徒歩10分、事前連絡で酒蔵見学可・10時~17時、☎0297(23)1155)



豊田城は町のランドマーク

この豊田城(地域交流センター)は、1992年(平成4年)にオープンした展示館で、5層7階建ての建物は1~2階は図書館と多目的ホール、展示施設は地域の歴史・産業、さらに長塚節の展示コーナーがあります。(石下駅から徒歩10分、9時~16時30分、月曜休館、入館料1400円、☎0297(42)0169)



愛娘を育てる思い酒造りに 山中酒造店

250年前から味噌・醤油製造に携わり、1805年(文化2年)に酒造業に移行したこの蔵元に、アメリカやヨーロッパに輸出している銘酒があります。「一人娘」と名付けた背景には「大切な一人娘を育てるように、真心込めて造りあげた清酒の一品」という意味があります。1944年(昭和19年)に全国清酒鑑評会第一位を受賞して以降数々の賞を受け、茨城を代表する銘酒です。硬水が酒造りの主流であった江戸時代に灘の酒に対抗して、鬼怒川の軟水を汲み上げて醸した反骨の酒として愛飲されています。また、吟醸「さやか」を使用した「酒ケーキ」も当店オリジナル。(石下駅から徒歩5分、事前連絡で酒蔵見学可、☎0297(42)2004)



桐下駄の温もりを今に伝える 小久保商店

石下の中心街で唯一、桐下駄製造を見ることが出来ます。紬の産地として共に発展してきたもので、かつて多くの下駄製造業者がいたといえます。質の高さを見る一つの



目安に下駄を裏返して、柱目であることが条件です。仕上がりに至るプロセスは原木から40工程といえます。下駄と共に併せて草履も造っており、竹の皮を使用した草履は屋内でも履けると人気商品となっています。伝統技術を守りつつ、今日の生活環境にも手作りの履物が生きています。(石下駅から6分、☎0297(42)2215)



秋をみつけに筑波山へ行こう! TX各駅にて好評発売中

筑波山きっぷ TX各駅~つくば駅 & つくばセンター~つつじヶ丘 1往復割引運賃	路線バス (筑波山口~つつじヶ丘) ロープウェイ ケーブルカー 乗り放題(2日間)
---	---

TX秋葉原から 大人4,300円 小人2,180円

生粋の地元系酒蔵の銘酒 野村醸造

近江系酒造の多いエリアで唯一、地元系の小さな酒蔵があります。10名のスタッフと若手杜氏によって昔ながらの酒造りにこだわっています。地元契約栽培の山田錦を筑波山系の湧水と県産酵母で醸した「細美人」大吟醸は、圧力をかけず、吊り下げた袋から垂れる雫を集める「袋吊し」という方法で、手間と時間をかけて丁寧に搾った円やかな旨味と芳醇な吟醸香が楽しめます。(石下駅から徒歩15分、小人数で随時見学可、☎0297(42)2056)



天然醸造の手作り味噌あります 石塚靴店

玉村駅から県道357号線の玉小入口交差点右手に位置する石塚靴店さんは、明治時代から代々の製法で手作り味噌を造っ

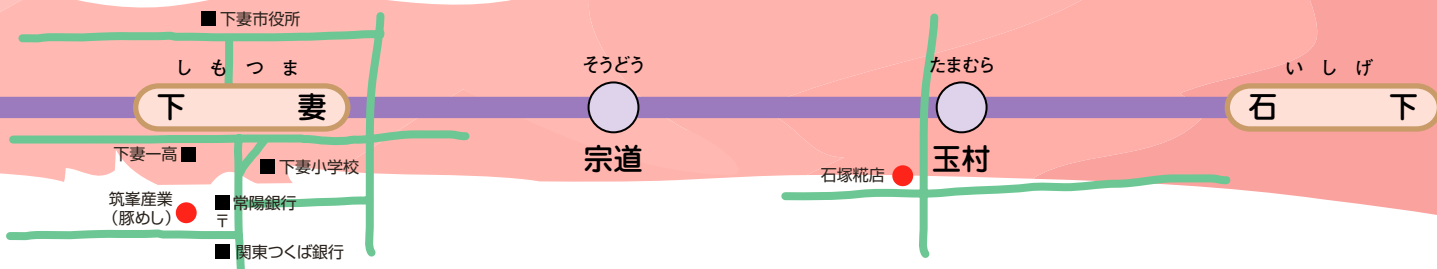


下妻の隠れた逸品 豚肉味噌工房 筑峯

下妻の名産品に「豚肉の粕漬」があります。厳選した国産ロース豚を乳酸菌を使用し、石下の蔵元で1年間寝かせた酒粕で漬けたものです。併せて、この店には前日に注文すると造ってくれる「豚めし」(500円)があり、隠れた逸品として人気があります。余分な脂を落としたバラ肉を醤油ベースの特製タレに漬け込んだものが、ご飯の上に敷き詰められたシンプルなものですが、奥深い味わいがあります。(下妻駅から徒歩8分、8時30分〜19時、第1・3日曜日休、☎0296(43)3060)



ています。4代目主人石塚一嘉さんは、旨い味噌は靴が命という信念で、昔ながらの粕、味噌を提供しています。地元の米を使用した米糘で造る米味噌、県内では珍しい麦味噌など6種類の味噌があります。添加物や防腐剤を一切使用していない本物の味噌があります。(玉村駅から徒歩5分、7時〜19時30分、年中無休、☎0297(42)2383 <http://www.miso.joso.jp/>)



関東最古の八幡宮 大宝八幡宮

701年(大宝元年)に創建された八幡宮で関東最古のものです。平将門も戦勝祈願に度々訪れたといわれ、境内は大宝城の城跡で国指定史跡となっており、三間社流造の本殿は国の重要文化財となっています。境内には共に120年を超える老舗の団子屋さんがあり名物になっています。(大宝駅から徒歩3分、参拝自由、資料館入館¥200円)

常総市のイベント

- [1月] 西福寺の石下初大師縁日
水海道マラソン大会
安楽寺のだるま護摩
- [4月] さくらまつり(あすなるの里)
千姫遺品展・野点茶会(弘経寺)
千姫まつり
- [7月] 祇園祭(市街地)
- [8月] 花火大会(鬼怒川河畔)
石下将門まつり
- [9月] 一言主神社例大祭・からくり綱火
- [10月] ふるさとの秋まつり(あすなるの里)
文化祭(市民公民館ほか)
水海道千姫さまコンテスト(29日)
- [11月] 菊花祭(市役所・八幡神社)
西の市(鷲神社)
ふるさとまつり(地域交流センター周辺)
かかしコンテスト(地域交流センター周辺)
篠山木挽き唄全国大会(地域交流センター)

常総市商工観光課 ☎0297-23-2111
水海道駅 ☎0297-22-0453
石下駅 ☎0297-42-2752

「鉄道の日」イベント

明治5年、新橋〜横浜間に鉄道が開通した日を記念して、国土交通省は10月14日を「鉄道の日」と定めています。関東鉄道では、恒例の「鉄道の日イベント」を11月4日に水海道車両基地を会場に開催致します。車両基地の一般公開をはじめ鉄道用品やオリジナルグッズ、鉄道模型運転会など鉄道に親しめる企画がいっぱい!つくばエクスプレスとの同日開催となりますので併せてご来場下さい。詳しくはホームページを御覧下さい。





安産子育て発祥の寺 福蔵院

838年(承和5年)、慈覚大師による創建で、本尊の十一面観音は奈良時代の高僧、行基菩薩による一刀三禮の御作です。観音信仰が盛んになり、安産子育て発祥の寺とした霊験あらたかなる古刹です。3年に1度、本尊が公開され、3月17日には縁日が行われます。現在、境内には23体の石仏が納められる石窟の建設が急ピッチで行われています。(黒子駅から徒歩20分、参拝自由)

関東の駅百選認定駅～騰波ノ江駅

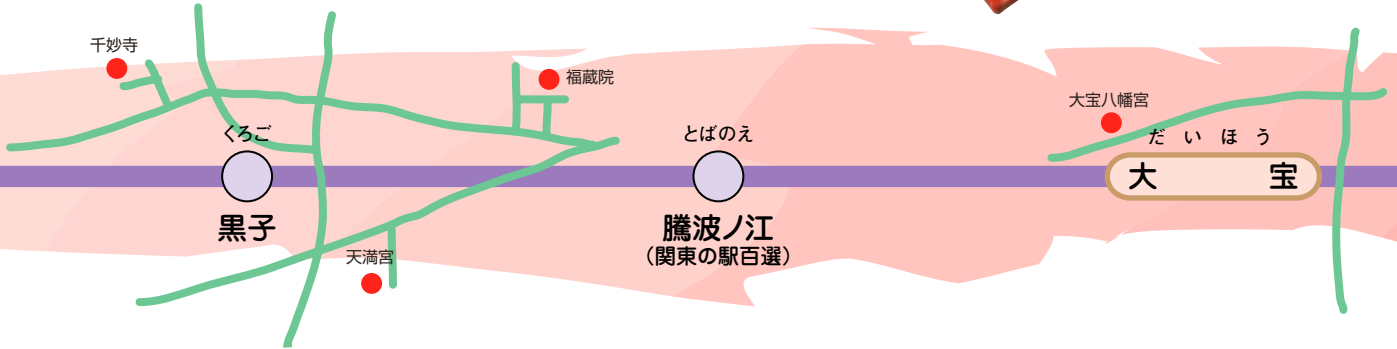


常総線では、騰波ノ江と新守谷の両駅が「関東の駅百選」の認定駅に選ばれています。明治5年、新橋～横浜間に鉄道が開通した日を記念して、国土交通省は10月14日を「鉄道の日」と定め、鉄道に親しんでもらおうと様々な観点から認定駅を選びました。当駅は、1926年(大正15年)8月15日に開駅したもので、当時の面影を今に残す当線唯一の木造駅舎となっています。

大きな宝が入る駅～大宝駅



大宝八幡宮の玄関口として、お宮のイメージを象った駅舎となっています。駅名から「大きな宝が入る」と開運袋に入った当駅の硬券入場券が人気を呼んでいます。全線有人駅にて発売しています。(各500円)



近代陶芸作家の先駆者 板谷波山記念館

下館出身の陶芸家として、その遺業と功績を称え、後世に伝えるため公開している記念館です。明治5年の誕生から東京美術学校(現、東京工芸大学)に入学する明治22年まで過ごした生家(県指定文化財)、東京田端の工房で使用していた窯など、名作の数々と共に展示しています。また、創作活動の傍ら郷土の文化財保護に力を注ぎました。筑波山に因んだ号からも郷土を愛した波山の軌跡を垣間見れる場所です。(下館駅北口から徒歩7分、10時～18時・入館は17時30分、入館料200円、0296(25)3830)

常総線時刻表

※赤字は快速(全て下館まで運行) ※青字は下館まで運行 (平成18年9月30日現在) ※一部を除き水海道で乗り換えとなります

●下り・守谷発【平日】	●下り・守谷発【土日祝日】
5:19 5:37 5:57 6:12 6:24 6:34 6:48	5:19 5:41 6:03 6:23 6:34 6:52 7:03
6:59 7:05 7:15 7:21 7:25 7:30 7:36	7:17 7:24 7:33 7:42 7:55 8:00 8:12
7:43 7:49 7:55 8:00 8:08 8:15 8:25	8:25 8:28 8:38 8:48 8:57 9:12 9:21
8:28 8:39 8:47 8:55 9:08 9:17 9:21	9:29 9:43 9:59 10:13 10:33 10:42
9:37 9:47 10:00 10:12 10:23 10:33	10:46 10:58 (この間5～20分おき) 15:54
10:42 10:46 10:58 (この間5～20分おき)	16:03 16:18 16:29 16:43 16:59 17:10
15:54 16:05 16:23 16:38 16:56 17:11	17:28 17:38 17:53 18:05 18:20 18:34
17:23 17:36 17:51 17:58 18:14 18:19	18:45 18:50 19:01 19:16 19:27 19:31
18:24 18:33 18:45 18:47 19:00 19:14	19:42 19:58 20:11 20:14 20:27 20:37
19:28 19:31 19:41 19:49 20:00 20:10	20:54 21:09 21:23 21:37 21:46 22:04
20:14 20:22 20:36 20:48 20:59 21:09	22:13 22:28 22:36 22:49 23:06 23:19
21:21 21:36 21:45 21:58 22:12 22:23	23:38 0:00 0:21 0:36
22:37 22:49 23:04 23:19 23:36 23:51	
0:00 0:21 0:36	

●上り・下館発【平日】	●上り・下館発【土日祝日】
5:59 6:19 6:24 6:47 6:51 7:13 7:32	5:59 6:19 6:24 6:47 6:51 7:13 7:32
7:37 8:04 8:33 8:52 9:15 9:42 10:00	7:37 8:04 8:33 8:52 9:15 9:42 10:00
10:36 10:47 11:07 11:36 12:03 12:45	10:36 10:47 11:07 11:36 12:03 12:45
13:17 14:06 14:34 15:06 15:42 16:25	13:17 14:06 14:34 15:06 15:42 16:25
16:48 17:16 17:29 18:04 18:39 19:13	16:48 17:16 17:29 18:04 18:39 19:13
19:39 20:06 20:29 20:48 21:21 21:46	19:39 20:06 20:29 20:48 21:21 21:46
22:04 22:36 23:00 23:34	22:04 22:36 23:00 23:34



アンティーク並ぶ銘菓の店 湖月庵

昨年4月に新装開店した和菓子の名店があります。店内は、古民家で使用された大きな梁を要所に用いて暖炉裏が切っただり、冬期は実際に炭を入れて癒しの空間を演出しています。というのも、ご主人の上野浩正さんはアンティークコレクターで、これまで眠っていた収集品を店舗つくりを活かし、お客様に楽しんでもらおうと改装を機に展示したのです。代表銘菓の「館最中」(168円)は、北海道十勝産の厳選小豆を使った館の中に求肥が入り、パリパリの皮との相性が良い一品。また、「まゆ玉」(60円)は黄身餡をホワイトチョコレイトで包み、卵の黄身の旨味を引き出しています。店舗の裏は甘味喫茶の「蔵の茶屋」では手作りのあんみつ、ところてん、おしるこなどが味わえ、こちらも古民具が飾られています。(下館駅北口から徒歩3分、8時30分～19時、火曜日定休、蔵の茶屋 11時～18時、☎0296(22)2513)



芸術文化を現代に受け継ぐ 中村美術サロン

中村家は下館に代々続く名家で、9代目は俳号を風篁といひ、与謝蕪村を支援していました。1983年(昭和58年)に自宅の明治中期に建てられた蔵を改装して、数々の焼物や波山の作品を展示公開しています。20代当主、中村兵左衛門氏が芸術文化を現代に受け継ぎ、訪れた方に伝えています。(下館駅北口から徒歩5分、9時～17時、不定休、入館無料 ☎0296(22)5321)



下妻市のイベント

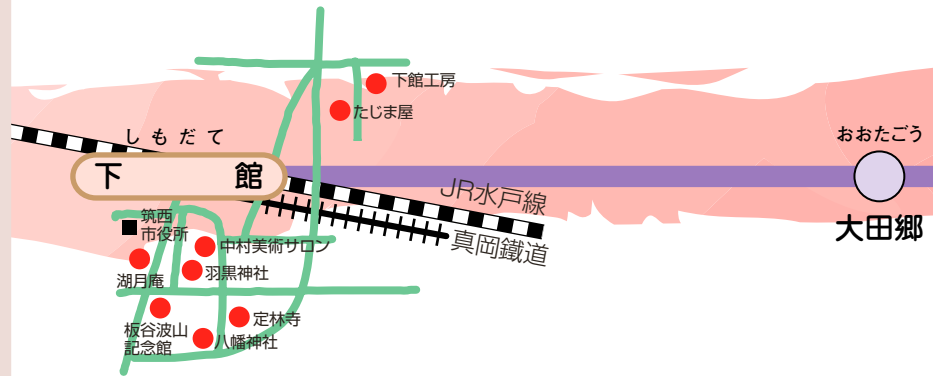
- [1月] 大宝八幡宮元旦祭
宗任神社御目覚め祭
 - [2月] 宗任神社節分祭
鬼怒川フラワーライン草取り交流会
 - [4月] 砂沼桜まつり
 - [5月] 小貝川フラワーフェスティバル
花とふれあいまつり
 - [6月] さつまいも定植大会
あじさい祭
 - [7月] 八坂神社祭礼
砂沼スイム&ランin下妻
ふるさとまつり連合渡御
 - [8月] 下妻まつり「千人踊り・砂沼花火大会」
鬼怒川流域交流Eポート大会
宗任神社輪くぐり祭
 - [10月] 砂沼フレンドリーフェスティバル
鬼怒川フラワーライン種まき&さつまいも掘り大会
 - [11月] 砂沼マラソン大会
大宝菊まつり
 - [12月] 密蔵院・冬至星祭り護摩供養
- 下妻市商工観光課 ☎0296-43-2111
下妻駅 ☎0296-44-2659

筑西市のイベント

- [1月] だるま市
- [2月] 辻稻荷神社火渉
- [3月] 関本神社太々神楽
- [4月] 湯立祭
芝桜フェスティバル
- [7月] 祇園まつり
わっしょいカーニバル
- [8月] 町の祭典「どすこいべア」
灯笼流し・盆踊り・花火大会
- [10月] 薪能
- [11月] 関本神社太々神楽

筑西市商工観光課 ☎0296-24-2111
下館駅(関鉄) ☎0296-24-6035

※スケジュールは予告なく変更されることもありますので、事前にご確認下さい。



ソーセージづくり体験ができる 下館工房

下館には日本ハムの工場があり隣接する下館工房さんは、本場ドイツの伝統製法に基づいた本格的ハム・ソーセージを提供するお店。店内のカフェでは出来立てのハム・ソーセージが味わえます。原料の豚肉は市内の奥田農場で育てた「SPF豚」を使用し添加物の使用を最小限に抑え工房ブランドとしています。また、オリジナルウィンナーの手作り体験工房を備え、1名から体験参加費・材料費2100円できます。(事前完全予約制)。(下館駅南口から徒歩10分、11時～20時、水曜日定休、☎0296(21)1129)

麺を隠すやわらかチャーシュー たじま屋

下館工場の斜向かいに位置するラーメンたじま屋さん。この店のチャーシュー麺にだれもが驚いています。どんぶりから飛び出た特大のチャーシューは、店主自ら厳選した肉を8時間じっくり煮込んだ、とろけるチャーシューなんです。醤油は細・手揉みのいづれかの麺が選べて、各種ラーメンの価格もリーズナブル。チャーシューのテイクアウトもあります。(下館駅南口から徒歩10分、11時30分～14時・17時～20時、木曜日定休、☎0296(21)0223)



商船三井フェリー
創立5周年記念キャンペーン

秋の北海道を旅してみませんか?

さんふらわあ 首都圏 水戸 戸洗 ◀▶ 北海道 札幌 苫小牧

さんふらわあ さっぽろ へすていあ (東日本フェリー運航船)	大洗 18:30発 着14:00	苫小牧 着13:30 発18:45	さんふらわあ みと さんふらわあ つくば	大洗 23:59発 着19:15	苫小牧 着19:45 発23:45
-----------------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------

得! マイカーキャンペーン

実施期間: 2006年12月30日まで

苫石ガソリンスタンドにて 割引特典

(フェリーご利用の乗用車、バイク乗車のお客様のみを対象とし、1台につき1枚の優待券を贈呈)



割引特典内容

ガソリン店頭価格からの
1リットル当たり5円引き

対象: レギュラー、ハイオクガソリン

10リットル以上給油の
お客様にはワックス洗車優待

店頭通常価格@1,500円→@500円

※洗車機に収まらない車輛は手洗いとなるため@1,000円 (利用可能GS): 若草町・有明町・(沼ノ端)・山手・錦岡 ※沼ノ端GSはワックス洗車の特典

プラチナ割引ワイドキャンペーン **55歳以上におトク!**

実施期間: 2006年9月19日~2006年10月31日出航分

※キャンペーン対象者: 満55歳以上のお客様(生年月日の公的証明書が必要です)

キャンペーン内容

夕便 旅客全等級**30%引き**
乗用車**10%引き**

●55歳以上の2名が夕便・1等Bを利用した場合
通常42,500円のところ30%割引とルーム
チャージ料無料サービス適用で**20,300円**に

**22,200円
お得!**

夜便 旅客全等級**50%引き**
乗用車**10%引き**

●55歳以上の2名が夜便・特等を利用した場合
通常41,000円のところ50%割引で
20,500円に

**20,500円
お得!**

※夕便の1等B4名部屋はプラチナ割引対象者2名で利用の場合、ルームチャージ無しで1ルーム利用可能
★プラチナ割引はインターネット予約では適用できませんので電話にてご予約下さい。

通常運賃(片道)

●大人1名様の旅客運賃
(小児運賃は下記一般運賃の半額となります)

一般運賃	スイートルーム	特等	1等A	1等B	2等寝台	2等
	31,000円	20,500円	17,500円	14,500円	10,500円	8,000円

●乗用車運賃
(車1台+運転者1名の2等運賃)

一般運賃	5m未満	1m増す毎に
	25,000円	5,000円

●自転車・二輪車運賃
(1台/通年)

一般運賃	自転車・50cc以下	二輪車50cc超400cc以下	二輪車400cc超
	5,300円	9,300円	11,300円

※その他の割引として、インターネット割引、学生割引等もごございます。詳しくはホームページでご確認下さい。※「さっぽろ」「へすていあ」には1等Aはありません。「みと」「つくば」には、スイートルーム・1等B・2等はありません。

ご予約はインターネットから <http://www.sunflower.co.jp>

お電話での
ご予約・お問い合わせは
受付時間 9:00~18:00
(土曜日は12:00まで/日祝定休)

フリーダイヤル



0120-489850 [予約はGO]

または、大洗 TEL.029-267-4133 茨城県茨城郡大洗町港中央2 苫小牧 TEL.0144-34-3121 北海道苫小牧市入船町1-2-34

携帯電話・PHSからの
フリーダイヤルのご利用
はできません。

QRコード



商船三井フェリー
携帯サイトへ簡単に
アクセスできます。

東京駅から 鹿嶋の歴史探訪コースに行く



北浦を懐に鹿島灘を望む茨城県南東部の鹿行地区の中心として知られています。一方多くの史跡が点在し、歩きながら歴史文化が楽しめるエリアとなっています。東京駅八重洲南口から鹿島神宮駅へ高速バスが運行しており、また、東京レポート駅・海浜幕張駅からも高速バスが運行され、約2時間で鹿島神宮駅にアクセスします。



鹿嶋の歴史探訪コース

東京駅八重洲南口 → 鹿島神宮駅 → 塚原ト伝像
(または東京レポート駅・海浜幕張駅) (所要約2時間) (徒歩5分)

鹿島神宮(境内散策) → 鈴章(昼食・なまず料理) → 丸三
(徒歩10分) (3分) (徒歩10分)

鹿島城跡・城山公園 → 根本寺 → 鎌足神社 → 丸三
(徒歩15分) (徒歩2分) (徒歩10分)

老舗(銘菓・喫茶) → 鹿島神宮駅 → 東京駅日本橋口
(徒歩5分) (所要約2時間20分)

※時間は目安で移動時間です。高速バスの所要時間は交通状況により遅れる場合があります。



鹿島神宮には鹿園があり、そこで遊ぶ鹿は神の使いとされています。現在の鹿は鹿島から移された奈良の春日大社の鹿の子孫を再び受け継いだものです。

園内の鹿たちは神のお使い



皇紀元年(紀元前660年)の創建と伝えられ、祭神は武甕槌大神(たけみかづちのおおかみ)で武芸の神様とされている。1634年(寛永11年)徳川頼房が奉納した、朱が一際鮮やかな「桜門」、国指定重要文化財の本殿後方には根回り12m、樹齢1200年を誇る御神木があります。向かいの宝物館を見学して奥へ進むと、左に御手洗、右手に進めば要石があります。静寂の中に歴史と文化を今に伝えています。(境内自由、宝物館入館は300円、9時~16時、無休)

千古の歴史を今に伝える 鹿島神宮

1822年(文政5年)から7代続く老舗の和菓子店があります。代表銘菓である常陸風土記(5個750円、10個1660円)は、北海道産極上大納言の中に求肥が

伝統の味を銘菓に託して 丸三老舗

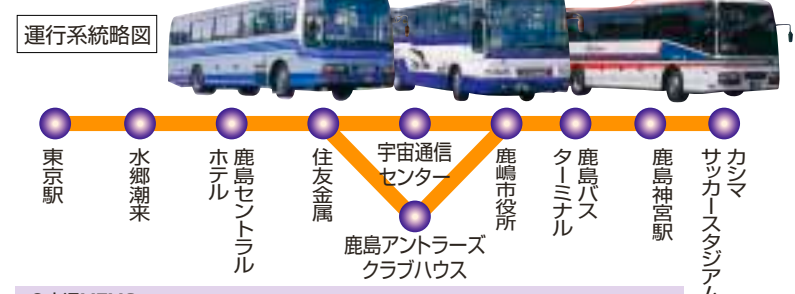
鹿島神宮駅の近く、鹿詰公園内に宮本武蔵との「なべぶた試合」の話で知られる塚原ト伝の銅像があります。鹿島新当流を開祖し将軍足利義輝らの指南役を勤め、ました。人々からは剣聖と呼ばれ、須賀の梅香寺跡にあり、剣を志す人たちが多く訪れています。(鹿島神宮駅から徒歩5分)

剣聖・塚原ト伝の銅像

鹿嶋市のイベント

- [1月] 初詣「元旦祭」(鹿島神宮)
白馬祭(7日・鹿島神宮)
- [2月] 節分祭(3日・鹿島神宮)
- [3月] 祭頭祭(9日・鹿島神宮)
- [4月] かしま桜まつり(鹿島城山公園)
- [5月] 御田植祭・流鏑馬(1日・鹿島神宮)
- [6月] 古武道奉納演武(第2日曜日・鹿島神宮)
- [8月] 花火大会
- [9月] 神幸祭(1-2日・鹿島神宮)
- [10月] 鹿嶋まつり
(下旬・土日・鹿嶋スポーツセンター周辺)
- [11月] 鹿嶋市菊花展(1~20・鹿島神宮)
相撲祭(3日・鹿島神宮)
新嘗祭(23日・鹿島神宮)
- [12月] 御煤燵(1日・鹿島神宮)
宮賀祭(20日・鹿島神宮)
天長祭(23日・鹿島神宮)
大祓式(31日・鹿島神宮)
※毎月1日は月次祭(おついでち参り)

※スケジュールは予告なく変更されることもありますので、事前にご確認下さい。



●交通MEMO
 東京駅~鹿島神宮駅 片道大人=1780円(小人=890円)
 座席定員制で、乗車券はJRバス東京駅の自動券売機または車内で発売しています。
 東京~鹿島神宮駅の高速バス路線はJRバス関東、京成バスとの共同運行です。
 ■関東鉄道 ☎0299-82-1291 ■JRバス関東 ☎03-3844-1950 ■京成バス ☎03-3691-0935

高速バス時刻表 平成18年9月30日現在

●高速バス時刻(下り・東京駅八重洲南口発)
 ※一部カシマサッカースタジアム行あり

6:30	6:50	7:10	7:30	7:40	8:00
8:20	8:40	9:00	…10~20分間隔運行…		
22:00	22:20	22:30	22:40		

●高速バス時刻(上り・鹿島神宮駅発)
 ※一部カシマサッカースタジアム発あり

5:00	5:20	5:40	5:55	6:00	6:12
6:24	6:36	6:48	6:55	7:00	7:10
…10~20分間隔運行…	20:00	20:20			
20:40	21:00	21:20			





塚原ト伝像



鹿島神宮駅から徒歩5分、9時～19時、年中無休、☎0299(83)0303

入り、甘さ控え目で小豆本来の味が楽しめます。また、鹿島立最中(16個1380円、24個2020円、40個3350円)は、1969年(昭和44年)以降、度たび皇室御料菓としてその栄誉を拝しています。併設された喫茶スペースでは購入商品が持ち込め、これからの時期はせんざいや栗餡のおしるこが薦めです。

なまず料理のフルコースを味わおう
〜鈴章〜



1897年(明治30年)から3代続く老舗の割烹料理店があります。20年前から地域に生きたいたメニューを味わって、「なまず料理」を提供しています。一品の薄造り、天ぷら、照り焼き、蒲焼(各1050円)からなまずコース料理(3670円、5770円)、各種弁当もありメニューも豊富。宴席用の高床式の座敷下が生簀となっていて、なまずが泳いでいます。一度食べて欲しいのが「なまず寿司」(1470円)で、大葉を敷いた握りとミョウガと白羽葱を乗せた重艦巻が寄せられています。なまずは容姿とは裏腹に淡泊で

★ベイエリアからもますます便利!
東京デポポート駅〜TDR・海浜幕張駅〜鹿島神宮駅

下り	●東京デポポート駅発	10:15	11:15	12:15	18:35	19:35	20:35
	●東京ディズニーシー発	10:35	11:35	12:35	18:55	19:55	20:55
	●東京ディズニーランド発	10:45	11:45	12:45	19:05	20:05	21:05
	●海浜幕張駅発	11:10	12:10	13:10	19:30	20:30	21:30
	鹿島神宮駅着	12:35	13:35	14:35	20:55	21:55	22:55
上り	●鹿島神宮駅発	6:05	7:05	8:05	14:10	15:10	16:10

平成18年9月30日現在



料理は列車で運びます
〜エミール〜

SLが走るレストランとして親しまれているエミールさん。ご注文は店内にレイアウトされたレールを走り、鉄道模型が運んでくれます。厨房のコントローラーでマスターが操作し、お客様の元にSLに牽引された貨車の上に乗せて届くというシステム。

推古天皇の613年、聖徳太子によって東方薬師如来を本尊とする勅願寺です。1687年(貞享4年)8月、松尾芭蕉が訪れ宿泊した時に「寺に寝て 真顔なる 月見かな」

芭蕉が月見に訪れた古刹
〜根本寺〜



鎌倉時代初期約800年前から室町時代の1591年(天正19年)に佐竹氏より落城するまでの約400年間、この城は鹿島氏(常陸大掾氏族)の居城でした。この場所がかつての本丸となっていて、眼下に北浦と神宮橋を望む市民の憩いの場となっています。(鹿島神宮駅から徒歩5分、入園自由)

鹿島城址・城山公園

パフエ(400〜600円)は動物を象ったガラスの容器に盛り付けた人気の商品。チョコバナパフエはボリューム満点です。模型は0番ゲージのドイツ製で、シュツィン、ポッポ店内にドラフトを響かせ、家族で楽しめるレストランです。鹿島神宮駅から徒歩5分、10時〜18時、火曜日・サッカー開催日定休、☎0299(82)0739



藤原鎌足ゆかりの神社
〜鎌足神社〜

神社の建立年代は分かりませんが、この地で藤原鎌足が誕生したとされる説が残っています。江戸時代から明治に編纂された「新編常陸国誌」にはこの鎌足社が明記され江戸時代からゆかりの地であったことが伺えます。境内には明治25年に建てられた「大織冠藤原公古宅址碑」という石碑があります。(鹿島神宮駅から徒歩5分、参拝自由)



「月はやし 梢は雨を 持ちながら」と詠み 同山に名句を残しました。(鹿島神宮駅から徒歩6分、参拝自由)

東京駅から

伝統的建造物が生きる小江戸・佐原めぐり

高速バス活用

～佐原めぐり編～



水郷・佐原の街は利根川に注ぐ小野川沿いを中心に醸造や河岸問屋が軒を連ねて、江戸への物資輸送で繁栄した商業都市。当時を偲ぶ歴史的建造物が今なお残り、我が国最初に実測による日本地図を製作した伊能忠敬が30年余り過ごした所縁の地でもあります。1996年(平成8年)には関東に先駆けて「重要伝統的建造物群保存地区」として国の選定を受け、昔からの家業を引き継いでいる商家も多く、生きている町並みが評価されています。佐原へは東京駅八重洲南口から高速バス「あそう号」が1時間25分でアクセスしています。



三菱館は1914年(大正3年)にイギリスから輸入したレンガを使った2階建ての洋館で、県内有数の洋風建築となっています。川崎銀行佐原支店として施工された後、市に寄贈され県有形文化財に指定されています。観光案内やPRコーナーを設けた「町並み交流館」が隣接しています。(高速バス八坂神社バス停から徒歩5分、水曜日定休、10時～17時、入館無料、☎0478(52)1000)

煉瓦造りの街のシンボル 三菱館



山車は、祭りに引く山、鉦、人形、鳥獸、草木などを装飾した屋台で、7月は八坂神社の祇園祭、10月の諏訪神社秋祭り「佐原の大祭」には山車行事が行われます。館内には24台の山車が交替で2台展示され、その壮大さから祭りの活気と迫力が実感できますよ。(高速バス八坂神社バス停下車すぐ、9時～16時30分、月曜日休館、入館料400円、☎0478(52)4104)

本物の山車が間近で見られる 水郷佐原山車会館

49歳で隠居してから江戸へ出て本格的な勉強を学んだといえます。55歳から10回に分けて測量を行い、その間全国を歩いた距離は3万5千kmになります。73歳で忠敬が亡くなった3年後に弟子たちにより「大日本沿海輿地図」が結実しました。旧宅は1793年(寛政5年)に自ら設計したもので、母屋と店舗が今も残っています。(高速バス八坂神社バス停から徒歩7分、9時～16時30分、月曜・年末年始休館、入館自由)



伊能忠敬が過ごした旧宅

伊能忠敬は1745年(延享2年)、千葉

精選した良質の白胡麻を、伝統技術の玉絞め圧搾による一番搾りの油を和紙で入念に濾過した最高級の胡麻油があります。様々な調理に使える一品で、炊飯には適量の油を入れるとふっくら炊き上がります。併せて、胡麻油で造った「ラー油」もお薦めです。1892年(明治25年)に作られた切妻平入造の店舗はその時代にタイムスリップできます。(高速バス八坂神社バス停から徒歩5分、9時～19時、不定休、☎0478(54)3438)



最高級の手搾り胡麻油 油茂製油



伊能家の本家である伊能茂左衛門17代伊能辰郎さんがマスターを勤める喫茶店があります。1698年(元禄11年)から1914年(大正3年)までの場所は代々醤油醸造を営んでいました。敷地内にはレンガ造りの煙突が残り、当時の繁栄ぶりを偲ぶことができます。店舗は伊能家が江戸時代から使用していた建具を用いた町並みとマッチした雰囲気の中で、店主のレクチャーを聞きながら寛ぐのもいいでしょう。(高速バス八坂神社バス停から徒歩7分、桶橋向い、10時～17時、不定休、☎0478(54)2335)

伊能本家が営む喫茶店 珈琲 遅歩庵 いのう



伊能忠敬旧宅前に小野川に架かる木橋があります。落水音からその愛称と呼ばれている桶橋はその昔、水田に送水する水路橋として使命を果たしていました。9時から16時まで30分に一度その音を聞くことができます(小野川の水位が低い時は流れません)。

桶橋(ジャージャー橋)

川面から見上げる佐原風情 舟めぐり

橋樑の袂に、小野川の流れに任せて舟めぐりができます。川面から歴史的建造物を見上げると、別の佐原の原風景が楽しめます。町並みコース(大人1200円、小人600円)、大利根コース(大人1300円、小人700円)の2コース。(高速バス八坂神社バス停から徒歩7分、9時〜16時、無休(天候・増減水により運休)、☎0478(55)9380)



測量成果の集大成 伊能忠敬記念館

55歳にして全国を歩いて測量し、大日本沿海輿地図を製作した伊能忠敬。その伊能図は現代の成果図と見比べても遜色ない測量高さが伺えます。



記念館は同氏の功績と地図に対する親しみと理解が得られる所です。(高速バス八坂神社バス停から徒歩8分、9時〜16時30分、月曜・国民の祝日の翌日休館、入館料500円、☎0478(54)1118)

有形文化財の蕎麦店 小堀屋本店



1782年(天明2年)から8代続く老舗のお蕎麦屋さんがあります。数度に渡る火災で現存する店舗は1892年(明治25年)の建築物で有形文化財に指定されています。店舗の梁や天井、階段など黒ぬりの色調から歴史の重さを感じ得ることでしよう。57種の製法が記された秘伝書が家宝として残っているといえます。2軒先に1929年(昭和4年)建造の旧千葉銀行佐原支店を小堀屋別館として営業しています。



高速バス八坂神社バス停から徒歩6分。11時〜18時、水曜日定休、☎0478(52)4128

とんぼ玉づくり体験 いかが?



高速バス八坂神社バス停から徒歩7分、10時〜15時、不定休、体験料は1回1000円+パーツ代、☎0478(54)1642

小野川沿いの正上さんは、1800年(寛政12年)創業の醤油醸造店。現在は「いかだ焼き」を代表とする佃煮の製造が主流。有形文化財の旧店舗では「とんぼ玉」づくりの体験ができる工房があります。若女将の加瀬秀美さんはとんぼ玉に魅せられ北海道のガラス工場で製造工程を学び、その楽しさを伝えたいと体験教室を行っています。

水郷の銘酒があります 馬場本店



散策の合間にオリジナルのアクセサリー造りにチャレンジしてみたいかがでしよう。

利根川を懐とする豊富な水と良質な米造りが盛んなこの佐原は「関東の灘」といわれるほど酒造りが盛んでした。この馬場本店さんは、天和(てんな)年間(1681〜1684)に創業し、江戸末期の幕臣勝海舟が当店に逗留したことに因んだ「海舟散人」という銘酒があります。また、昔からの製法を変えずにもち米で造った「最上白味噌」は絶品。60年ぶりに復活させた本格焼酎「でげけ」もお薦めです。見学・試飲ができます。(高速バス八坂神社バス停から徒歩10分、9時〜17時、不定休、☎0478(52)2227)

水運物資のストックポイント 与倉屋大土蔵



かつては醤油、酒の蔵元であったことから、製品や原料を保管する倉庫で、水運とともに発展した当時の風情を今に残している土倉があります。今はイベント会場にも利用されることもあり、中には入れますが、建築技術の高さが伺えるものです。(高速バス八坂神社バス停から徒歩8分)

高速バス時刻表(銚田・麻生ルート)

●高速バス時刻(下り・東京駅八重洲南口発)				
9:40	11:40	16:00	17:40	18:50
20:20				
●高速バス時刻(上り・佐原駅発)				
6:20	7:20	8:20	9:20	14:20 16:50

平成18年9月30日現在

交通MEMO

東京駅〜八坂神社(下り)約1時間20分
佐原駅〜東京駅(上り)約1時間45分
運賃:大人1,700円(小人850円)
※高速バスあそ月号は座席定員制です。
所要時間は交通状況により遅れる場合があります。



重要無形民族文化財

【佐原の大祭】 10月13〜15日

- 関鉄グリーンバス銚田営業所 ☎291-33-3181
- 町並み観光中央案内所 ☎0478-55-2020
- 香取市佐原区商工観光振興課 ☎0478-54-1111
- 佐原町並み交流館 ☎0478-52-1000
- 佐原駅前観光案内所 ☎0478-52-6675

★小江戸町並み散歩コース★

東京駅(9:40発) → 八坂神社(11:01着) → 山車会館 → 三菱館・佐原町並み交流館 → 油茂製油(胡麻油) → 正上(とんぼ玉づくり体験) → 小堀屋本店(蕎麦) → 忠敬橋 → 伊能忠敬旧宅・樋橋(ジャージャー橋) → 伊能忠敬記念館 → 運歩庵いのう(喫茶) → 与倉屋大土蔵 → 馬場本店(蔵元) → 諏訪神社・伊能忠敬銅像 → 佐原駅(16:50発) → 東京駅(18:35着)

★小江戸乗船コース★

東京駅(9:40発) → 八坂神社(11:01着) → 山車会館 → 三菱館・佐原町並み交流館 → 油茂製油(胡麻油) → 忠敬橋 → 小堀屋本店(蕎麦) → 伊能忠敬記念館・運歩庵いのう(喫茶) → 樋橋(ジャージャー橋)・伊能忠敬旧宅 → 小野川舟めぐり → 与倉屋大土蔵 → 馬場本店(蔵元) → 諏訪神社・伊能忠敬銅像 → 佐原駅(16:50発) → 東京駅(18:35着)

● 鉄道トピックス TOPICS

関鉄レトロでGOⅢ好評発売中

常総線で運用しているリバイバル塗装の車両、キハ353+354を模した玩具「関鉄レトロでGOⅢ」（1セット1,000円）を発売しました。2両の車両を引っ張り連結すると勢いよく走ります。色は朱色とクリームの懐かしいツートンカラーです。常総線・竜ヶ崎線の有人各駅ならびにウェブショップでもお求め頂けます。



掲載したエリアの「鉄道、高速バス活用」マップ

路線図

- 高速バス
- 関東鉄道常総線
- 関東鉄道竜ヶ崎線
- 鹿島鉄道



次号は2007年3月発行予定



Q₁ 東京駅から佐原、潮来を経由して銚田駅に至る高速バスの愛称は？
A.かしま号 B.あそう号 C.よかつぺ号

Q₂ 茨城県大洗港と北海道苫小牧港を就航しているフェリーの愛称は？
「さん○○○○」

正解者の方から抽選で各5名(10各様)に弊社並びに商船三井フェリー様提供オリジナルグッズをプレゼント致します。官製はがきに①クイズの答え、②住所・氏名・年齢・職業、③本誌を手にした場所、④本誌へのご感想や取り上げて欲しい内容等、ご意見を添えてご応募下さい(締切りは11月末日消印有効)。なお入手した個人情報は弊社編集部が厳重に管理し、商品発送以外の目的で使用することはありません。当選者の発表はご本人への商品発送を以てかえさせていただきます。

〒300-8555 土浦市真鍋1-10-8 関東鉄道(株)企画課内
POCKET編集部プレゼント係まで

※前号の答え…正解はCでした。多くのご応募ありがとうございました。

関東鉄道コミュニケーションガイド 関鉄POCKET 2006 Vol.10

発行 **関東鉄道株式会社** 総務部企画課
TEL029-822-3710 FAX029-823-5834

100 古紙配合率100%再生紙(エコマーク取得)を使用しています

POCKET ポケットメイト募集～ 編集部から 貴方が沿線を紹介して下さい。

編集部では、一緒に旅してくれる本誌女性モデルを募集しております。お友達と2人でも結構です。簡単な履歴、顔写真を添えて編集部までご応募下さい。追ってご連絡差し上げます。採用の方には、記念品を贈呈致します。

また、編集部では皆様の幅広い情報をお待ちしております。身近な話題からお店の紹介、多くの方にお知らせしたいことなどお寄せ下さい。なお、関東鉄道の情報はインターネットでもご覧になれます。
<http://www.kantetsu.co.jp/>

本誌への広告掲載のご案内

地域密着型の本誌は当社各駅、バスターミナル案内所、行政関係各所、東京の観光アンテナショップ、京成電鉄、新京成電鉄各駅に設置されたフリーペーパーとして発行しております。お店や企業のPRツールとして本誌への広告掲載のお申し込みは総務部企画課までお願いします。媒体資料を用意しております。

●撮影/Yoshiyuki Jumonji

関鉄Pocketは関東鉄道の登録商標です